



マーチィ's ROOM

マーチィに訊け！

まちづくりライブラリーからおすすめの一冊 県都市計画課で貸し出しできます！
『限界集落株式会社 黒野 伸一 著(小学館)』



今号のおすすめ
ライブラリー
こちら！



某NOKでドラマを見たという人もたくさんいますよね。ちょっとご紹介としてはタイミングを逸しているかもしれませんが、ご容赦ください。この小説もこれからのまちづくりでは切っても切り離せない「人口減少社会」をどうやって地域が生き残るかをテーマにしています。

人口減少社会がもたらす課題の解決策として、全国的に「コンパクト+ネットワーク」によるまちづくりが展開されようとしています。限界集落は、拠点になる地域からやはりはじかれるのでしょうか？この小説の中では、限界集落も異彩を放つ切り捨てることのできない地域になるわけです。こんなにうまくいったいいんでしょうか？と思いつつも生き残り策としてはわかりやすく表現されているので、地域づくりの参考にもなるでしょう。

欲を言えば、もっと悪役がでてきて、頭脳的に組織づくりの邪魔をすとか、もっとつっこんでほしい気もしました。もしかして、続編があるのでは？

マーチィ VOICE

●ファシリテーターの紹介●

甘楽町 産業課 横尾 貴広



横尾 貴広さん

私は平成24年度の「パートナーネットワーク講座」を受講し、群馬県まちづくりファシリテーターに認定されました。講師の方々、参加者の皆さまには大変お世話になりました。

当町は大下先生をコーディネーターに迎え、平成23年度から「観光まちづくりワークショップ」を開催し、参加者や地域住民と協議しながら「歴史的環境を活かした住民協働の観光まちづくり」を目指してきました。私自身も委員としてワークショップに参加し、何度かファシリテーターを務める中で、特に気を付けた点を皆さまに紹介します。

まずは「時間」です。限られた時間の中で有意義に議論するためには、最初に時間を的確に配分することで、参加者全員が時間経過を意識し、円滑に議論を進めようとする方向性が芽生えます。

さらに、議論に深みを増すために「上手に意見を引出す」事が重要です。大きな声や力を持った意見だけが通らないよう、意見の出ていない(少ない)参加者に話を振り全員の意見を引出すには、単に「〇〇さんはどう思いますか？」と聞くのではなく、より自然に議論の輪に入れるようなタイミングで声をかけることが大切で、ここがファシリテーターとしての「腕の見せ所」だと思っています。

こうして数々の意見を吸い上げ、参加者との合意形成に基づきとりまとめをするのですが…やはり時間が足りないことが多いので、実践を重ねながら精進していきたいと思います。

最後になりますが、多くの方々と楽しく交流しながら学べる当講座にぜひご参加ください！

マーチィの掲示板

平成27年度パートナーネットワーク講座受講者募集中！

今年もパートナーネットワーク講座を開催します。この講座は、住民主体のまちづくりを推進していくうえで、参加者の意思統一を図るために用いられる手法「ワークショップ」の技法を習得し、まちづくりリーダーを育成しようとするものです。

実践的な講座の中で、まちづくりに必要な知識・技術を楽しみながら学ぶことができます。

市町村職員の方はもちろん、まちづくりを実践している方やまちづくりに興味を持っている方など、ぜひ参加してみてください！



【入門編 (県庁)】

8月20日(木)・21日(金)

【発展編 (みどり市)】

10月23日(金)・24日(土)

【応用編 (館林市)】

11月20日(金)・21日(土)

参加申込は、各市町村都市計画担当課または、県都市計画課まちづくり室企画推進係までお願いします。

